



《雛道具 犬笛》昭和時代  
※掲載作品はすべて個人蔵

## 大きいのも小さいのもス・ゴ・イ! —雛飾りにみる名工たちのわざ—

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念

佐野美術館のおひなさま—大きな雛人形と小さな雛道具

2017.2.25[土]—4.2[日]



《雛道具 菓子折り》  
昭和時代



二代原舟月作《五人雛子》江戸時代後期

**佐**野美術館恒例の雛人形展、今年は大ぶりで豪華な雛人形一式と、職人技が光る極小の雛道具を展示します。

大きな雛人形は、古今雛の名工・二代原舟月の作です。昨年の雛展でも当館所蔵の伝舟月作内裏雛をお披露目したので、覚えている方も多いでしょう。今回は、内裏雛と五人雛子、隨身の揃いが展示され

ます。人形の大きさは50~60cm、三段に飾ると2m近い段飾りにな



《雛道具 花衣桁》 大正時代

ります。豪華な宝冠と衣裳、清楚な中にも独特的な品格が漂う表情、江戸時代後期に一世を風靡した匠のわざがここに見られる、壯麗な雛飾りです。

小さな雛道具は、雛道具研究家・川内由美子氏のコレクションを展示します。子供のころから“小さいもの”が大好きだったという川内氏は、一つのパーツが数ミリというのもある極小の雛道具コレクター

として知られています。江戸にその名を馳せた名店「七澤屋」の雛道具を含め、数千点におよぶコレクションはどれも極めて精巧で、指先に乗るほどの犬笛や、細かな文様が描かれた染付の器、カットの切れ味鋭いギヤマンなど、いつまでも見飽きません。特に、蒔絵の引き出しに御簾を立て、花々を飾った「花衣桁」という不思議な道具は、実際の婚礼道具には見ら

れないもので、何に使ったのかわかりません。また、婚礼の席に供された「海の幸」「山の幸」「菓子折り」などもひとつずつは1~2cm、目を見張る職人技のたまものです。

大きく豪勢な世界にも、手のひらにのせて見るような極小の世界にも、名工たちの心意気が感じられる展覧会です。

(副館長・学芸グループ長 坪井則子)

## 展覧会ポスターにみる佐野美術館の軌跡V

2012年4月~2017年2月

『隆泉31号』につづく5年間の展覧会を、ポスターでたどります。

2012 ▶▶



2014 ▶▶



2013 ▶▶



2015 ▶▶



2016 ▶▶



2017 ▶▶



## ミュージアムショップ

お雛様グッズ各種取り揃えております!!

※「佐野美術館のおひなさま」展覧会期間中(2/25~4/2)のみの販売です。

便利堂



ミニクリアファイル  
216円(税込)  
可愛いらしいミニクリアファイル。  
カード類や葉書の持ち運びに便利です。

石川紙業



ミニ壁掛  
ひしもんおひなさま  
810円(税込)  
ちりめん立ちびなうさぎ  
水引かご入  
1,620円(税込)

ケイス



絵てぬぐい  
1,080円(税込)

友禅和紙  
おひなさま吊り飾り  
1,404円(税込)

## プレゼントコーナー

※抽選で5名様にマークの品を差し上げます(色・デザインは当方で選択します)。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「長年続いている習慣」です。  
しめきり:2017年2月15日(消印有効)  
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。